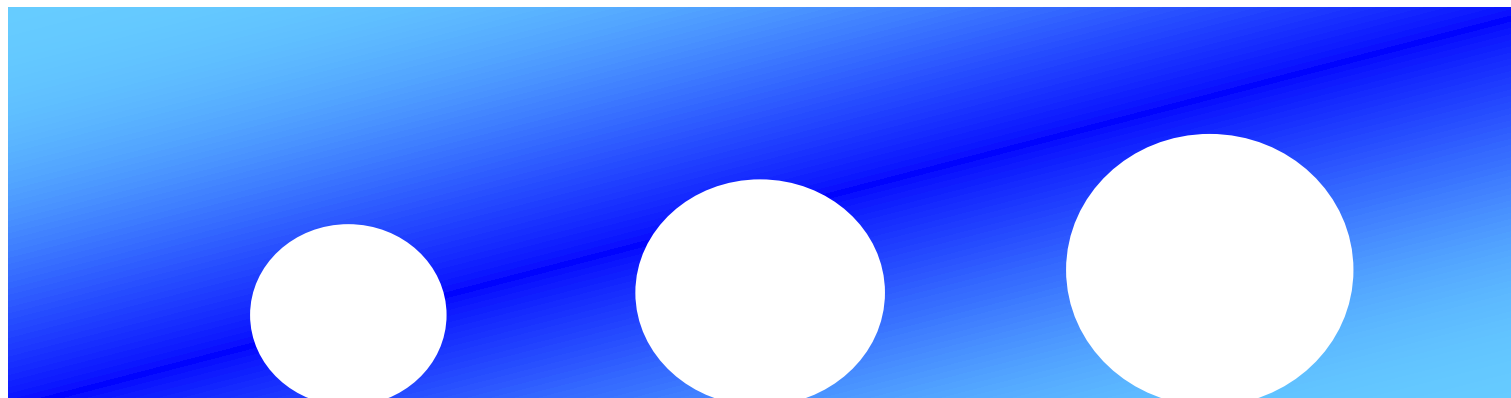


2022年3月期第2四半期 決算説明資料



2021年11月19日

アイホン株式会社

(証券コード：6718)

1. 2022年3月期第2四半期 連結決算概要
2. 2022年3月期 連結業績予想
3. 株主還元
4. 新市場選択

1. 2022年3月期第2四半期 連結決算概要

■ 新型コロナウイルス

● 営業活動

- (国内) ・ 集合住宅のリニューアルは、概ね活動制限がなく販売が大幅に増加。
 - ・ ケアのリニューアルは、感染拡大の懸念により現場訪問による提案活動に制限。
- (海外) ・ 北米・欧州は、ロックダウン等による規制が概ね解除、経済活動の正常化が進展。非対面ニーズの高まりが、テレビドアホンの販売活動を後押し。
 - ・ オセアニアは、第2四半期にデルタ株の感染拡大により主要都市がロックダウンし、販売活動が低迷。

● 生産活動

- (生産) ・ ベトナムにおいて、同国政府による厳しい行動規制の影響により一部の製品に遅延が発生するも、従業員が一丸となり操業を維持し生産を継続。

■ 電子部品の需給逼迫

● 営業活動

- (国内) ・ 2020年10月発生の子プライヤ工場火災影響により、当社への需要が一時的に増加。
 - ・ 住宅、ケア、業務の各市場において、一部商品の納期に遅延が発生。
- (海外) ・ 集合住宅向けの一部商品の納期に遅延が発生。

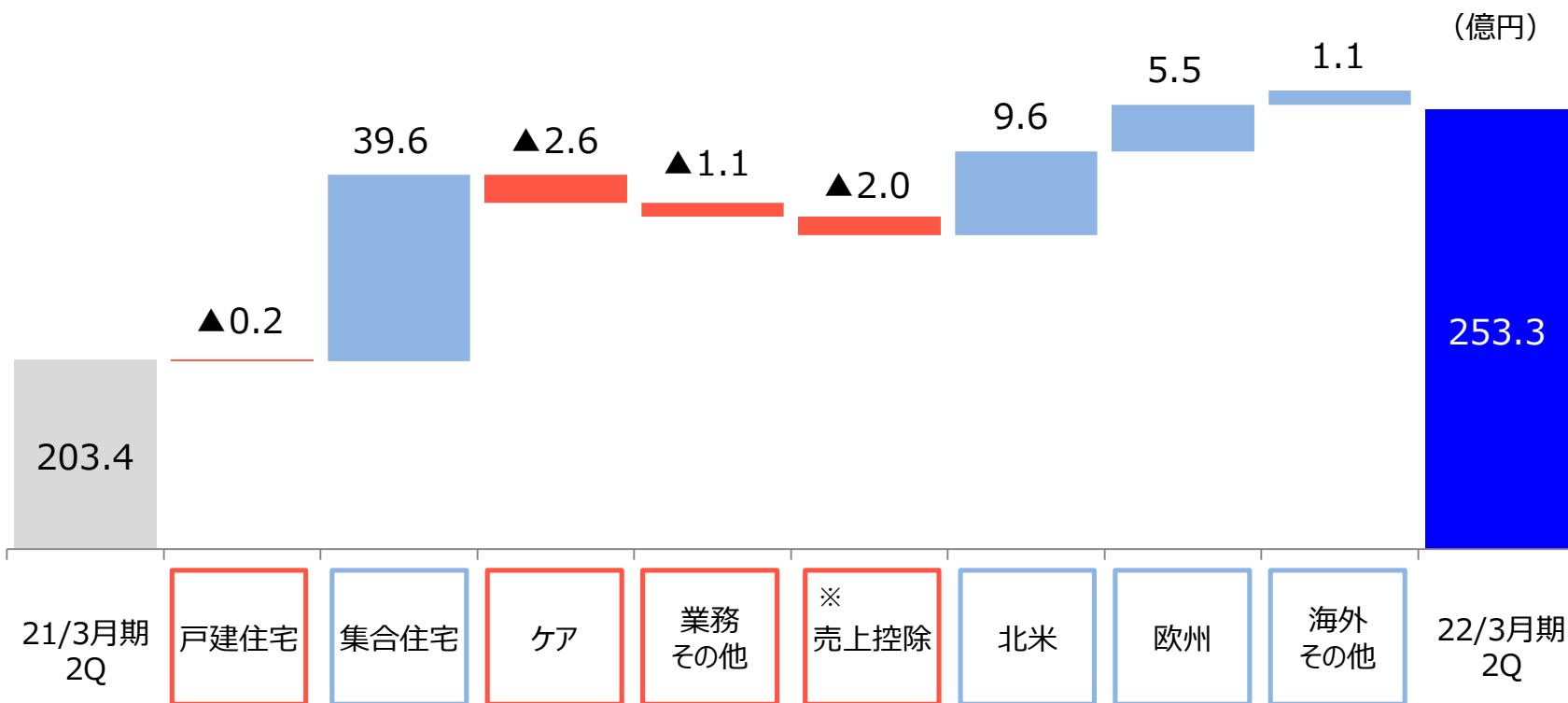
● 生産活動

- (調達) ・ 世界的な電子部品の供給不足及び2021年3月発生の子プライヤ工場火災の影響により、電子部品等の納入遅延及びコストアップが発生。
- (生産) ・ 電子部品の供給不足により、一部商品の生産に遅延が発生。

(億円)	21/3月期 2Q	22/3月期 2Q			当初計画 (21/5/7発表)	当初計画比
	実績	計画 (21/9/21修正)	実績	前年同期比		
売上高	203.4	250.0	253.3	124.6%	246.0	103.0%
営業利益 (売上高営業利益率)	11.8 (5.8%)	28.0 (11.2%)	32.5 (12.9%)	274.7%	15.0	217.1%
経常利益	11.6	30.0	34.2	294.7%	16.0	214.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8.9	25.0	27.7	312.1%	14.0	198.5%
為替 レートの (円)	USD	106.92	109.75	109.80	※上記実績及び計画は新収益認識基準を適用	
	EUR	121.29	130.80	130.89		
	THB	3.38	3.42	3.42		

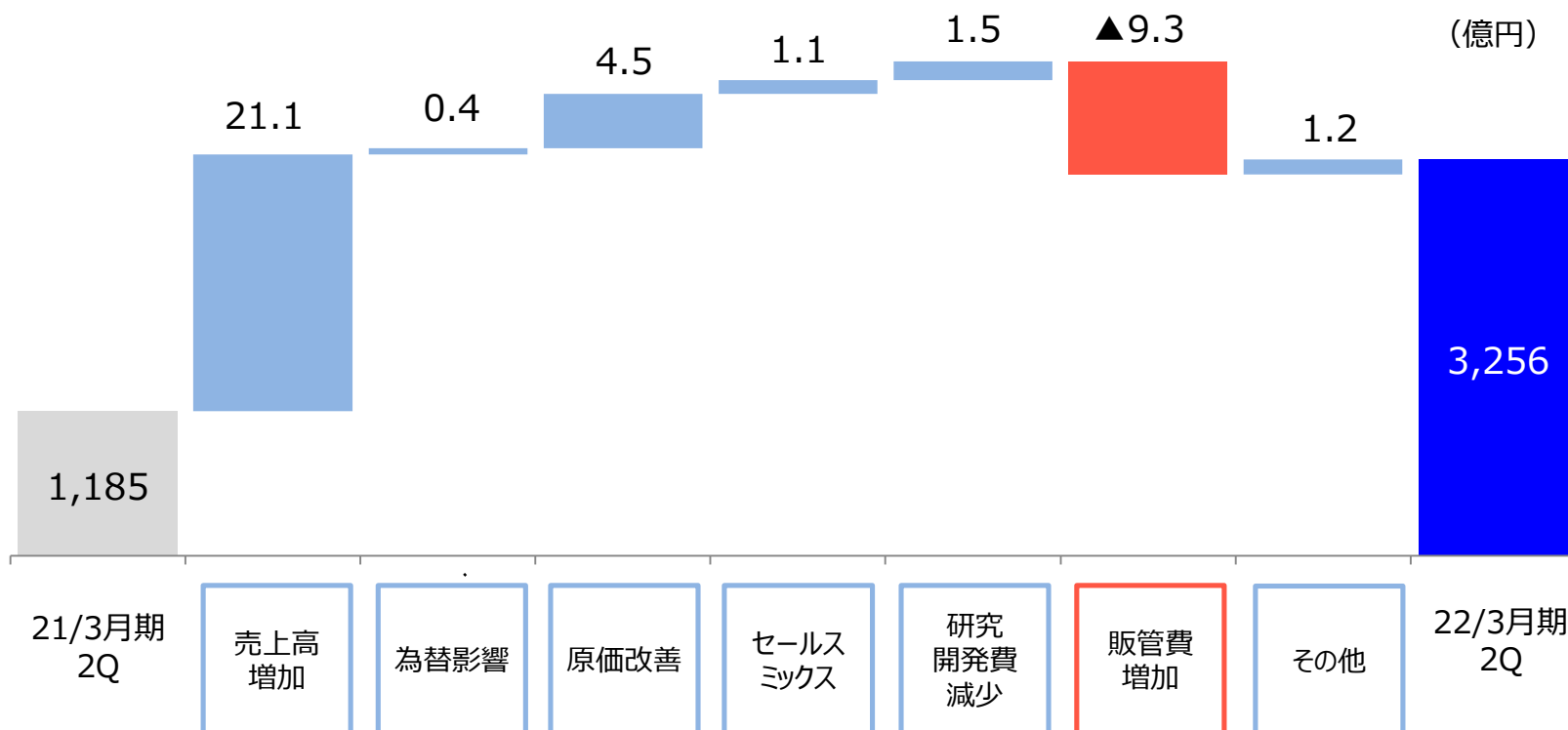
- 売上高**
(過去最高)
 - 国内の集合住宅への積極的な受注活動が奏功。
 - 2020年10月発生サプライヤ工場火災の影響により、当社への需要が一時的に増加。
 - 欧米を中心に経済活動が正常化、非対面ニーズの高まりがテレビドアホンの販売に好影響。
- 利益**
(過去最高)
 - 売上高の大幅な増加に伴う売上総利益の増加及び経費削減等の影響により、増益。
 - 売上高営業利益率12.9%と前年同期比・計画比ともに上回る。

売上高の増減要因



国内市場	海外市場
152.2億円 → 185.9億円	51.1億円 → 67.3億円
33.6億円増加 (前年同期比 22.1%増)	16.2億円増加 (前年同期比 31.8%増)
国内の集合住宅への積極的な受注活動及び2020年10月発生 のサプライヤ工場火災の影響により、当社への需要が増加。	欧米を中心に経済活動が正常化に向かい、市況が回復。非対面ニーズの高まり が販売に好影響。

※ 新収益認識基準の適用による前年同期との売上控除差額

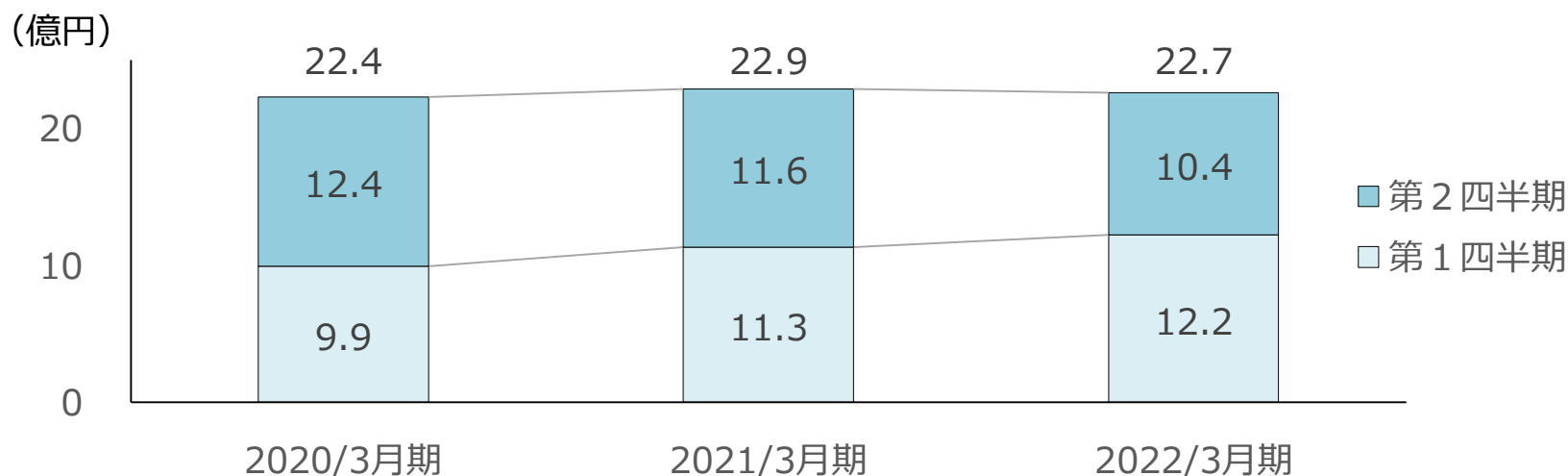


- 売上高の大幅な増加に伴う売上総利益の大幅な増加
- 売上原価率3.25ポイント改善
- 人件費、運賃・梱包費等の販管費の増加
- 為替の影響により、0.4億円の増加

前年同期比 新築1.5%増加、リニューアル10.1%減少

- 新築 高機能商品の販売が好調に推移するも、部品の供給不足の影響により一部商品に遅延が生じ売上は微増にとどまる
- ▲ リニューアル 部品需給の逼迫によりワイヤレステレビドアホンシリーズの生産に影響が生じ売上は減少

	21/3月期	22/3月期	増減額	増減率
売上高 (億円)	22.9	22.7	▲0.2	▲0.9%



前年同期比 新築43.9%増加、リニューアル44.0%増加

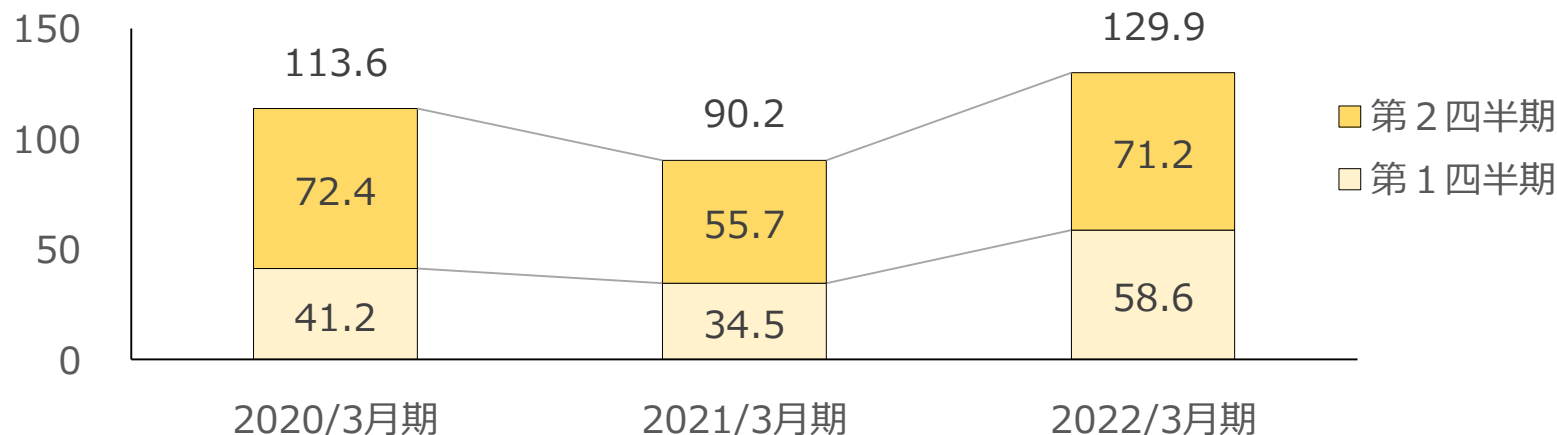
- ◎ 新築 新商品を中心とした積極的な受注活動や、昨年発生したサプライヤ工場の火災の影響により当社への需要が増加し販売が好調に推移
- ◎ リニューアル （分譲）新築同様に需要の増加に加え、積極的なソリューション営業により販売が増加
（賃貸）賃貸住宅向け商品の販売が大幅に増加



▲集合住宅用インターホンシステム PATMOα

	21/3月期	22/3月期	増減額	増減率
売上高 (億円)	90.2	129.9	39.6	44.0%

(億円)



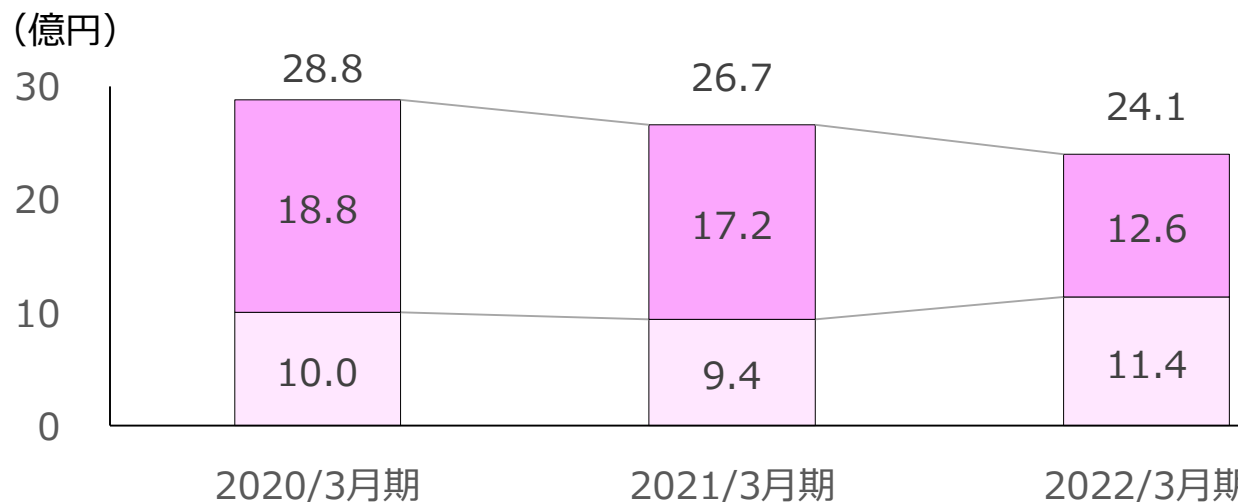
前年同期比 新築25.8%減少、リニューアル1.0%増加

- ▲ 新築 病院の新設着工数や高齢者施設の新設申請件数などの減少傾向が続
き、病院、高齢者施設、高齢者住宅のいずれも販売が減少
- リニューアル コロナ禍における活動制限が継続されているものの、I C T 導入補助金
などを活用したナースコール設備の更新が増加し販売が増加

	21/3月期	22/3月期	増減額	増減率
売上高 (億円)	26.7	24.1	▲2.6	▲9.7%



▲ I Pネットワーク対応ナースコール Vi-nurse



■ 第2四半期
■ 第1四半期

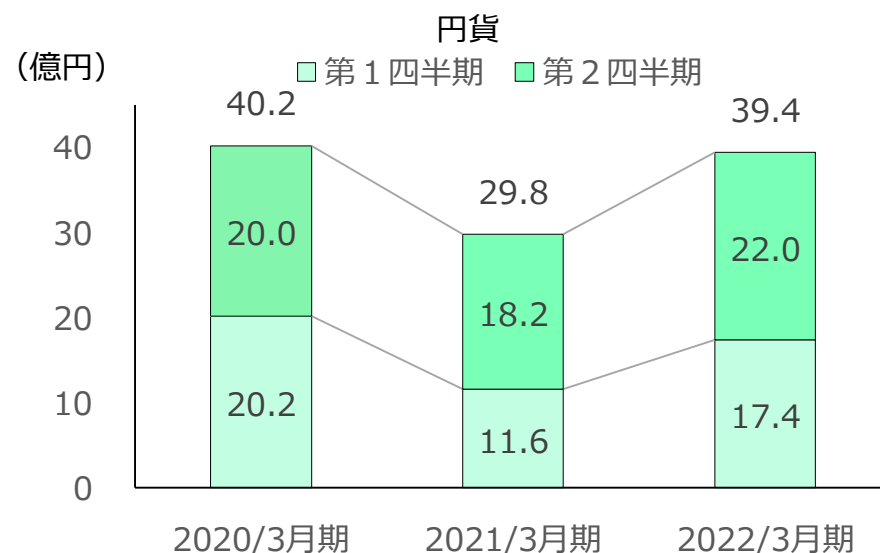
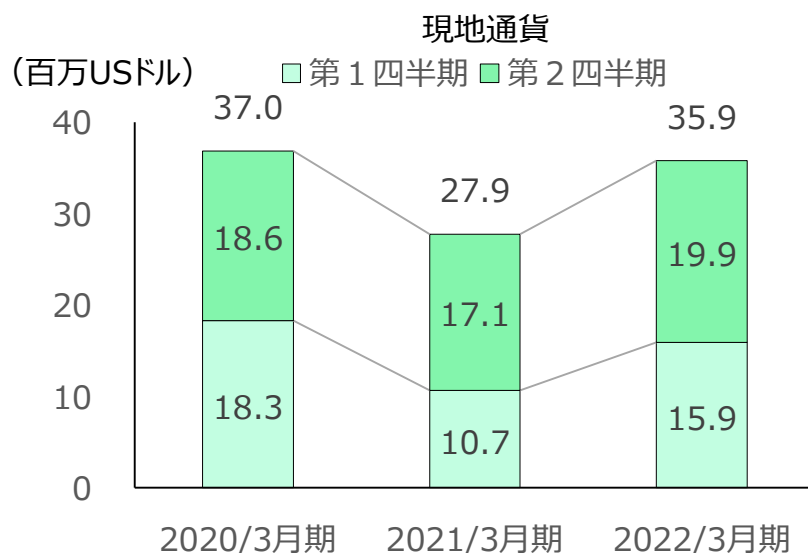
現地通貨、円貨共に前年同期比増加

- ◎ 非対面ニーズの高まりにより、住宅や小規模オフィス向けにテレビドアホンの販売が増加
- ◎ 学校案件だけでなく政府系案件や病院案件において入退室管理の重要性が高まりを見せ、IPネットワーク対応インターホンシステムの販売が増加

	21/3月期	22/3月期	増減額	増減率
現地通貨 (百万USD)	27.9	35.9	8.0	28.8%
円貨 (億円)	29.8	39.4	9.6	32.3%



▲ IPネットワーク対応システム：IXG



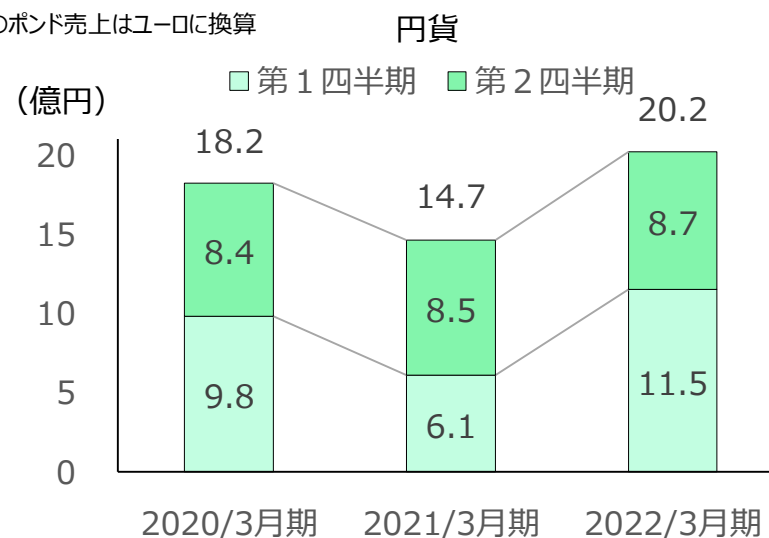
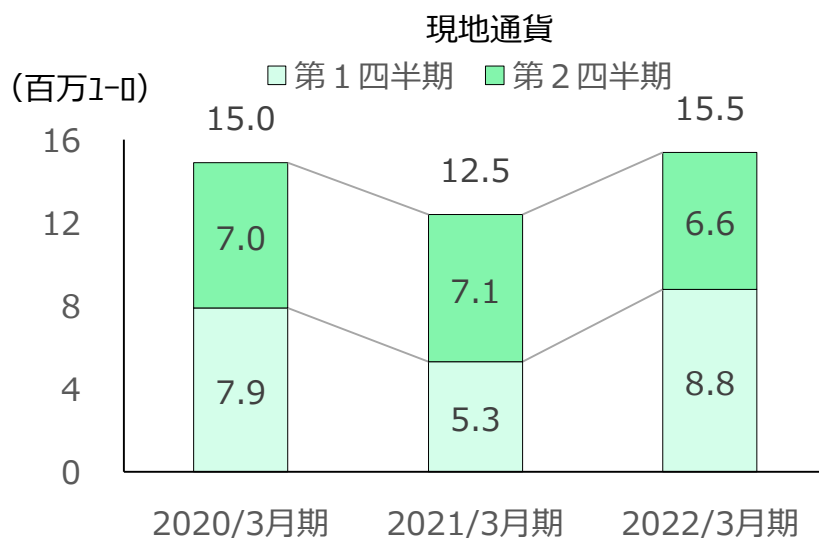
現地通貨、円貨共に前年同期比増加

- ◎ フランス：在宅需要が堅調な住宅市場を中心にテレビドアホンの販売が好調に推移するとともに、停滞していた集合住宅向けのプロジェクトが再開し販売が増加
- ◎ イギリス：EU離脱やコロナ禍に伴う建築材の不足により集合住宅市場の回復には時間を要しているものの、新型コロナウイルス対策規制が解除されたことにより、業務市場を中心に販売が増加

	21/3月期	22/3月期	増減額	増減率
現地通貨 (百万ユーロ)	12.5	15.5	2.9	23.7%
円貨 (億円)	14.7	20.2	5.5	37.4%

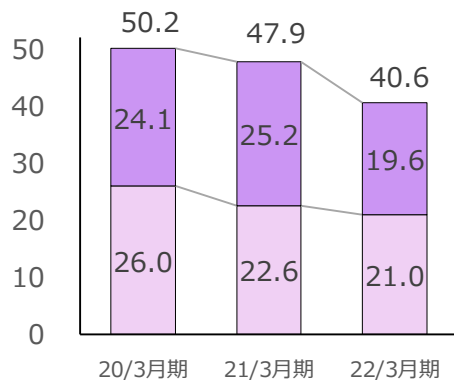


▲ 戸建住宅用テレビドアホン：JO

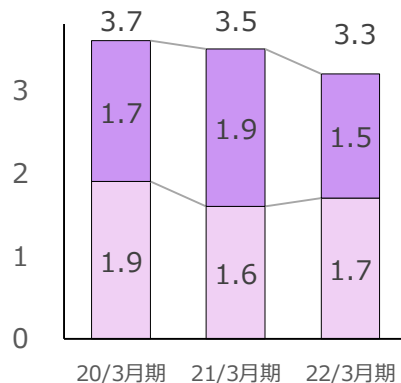


オセアニア市場

(十万AUDドル)

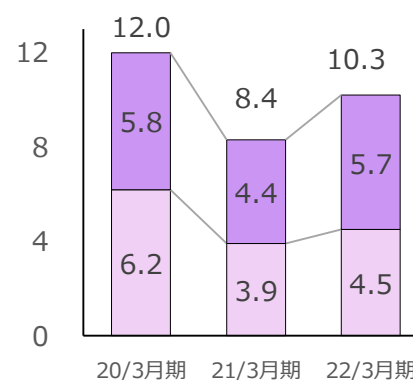


(億円)

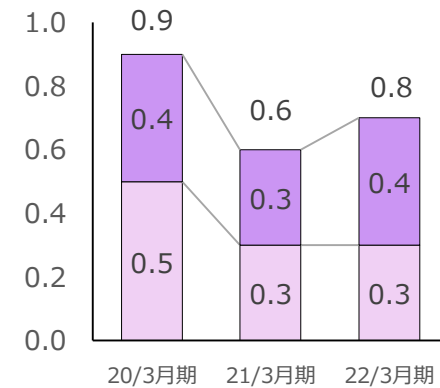


シンガポール市場

(十万Sドル)

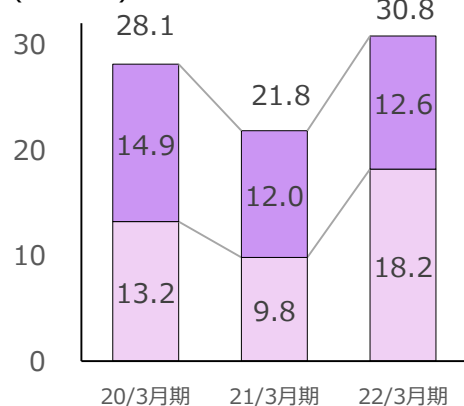


(億円)

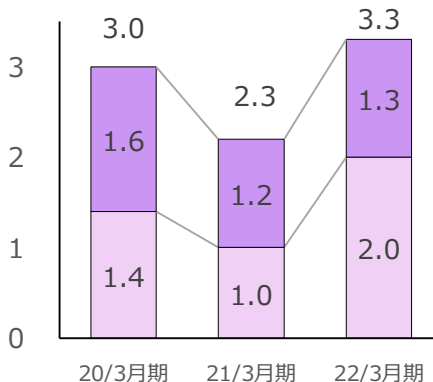


アジア・その他市場

(十万ドル)



(億円)



<オセアニア>

集合住宅市場の販売が回復基調で推移したものの、新型コロナウイルス・デルタ株の感染が拡大し売上は減少

<シンガポール>

新型コロナウイルスの影響から、一部の案件において工期延期が続いているものの、集合住宅市場の販売が回復した結果、販売は増加

<アジア・その他>

新型コロナウイルスの影響があるものの、中南米において集合住宅市場が好調に推移し販売が増加

2. 2022年3月期 連結業績予想

■ 新型コロナウイルスの影響

(営業)

- ・ 各国におけるワクチン接種が進み、経済活動の正常化が進展。
- ・ 非対面、抗菌・抗ウイルスへの需要増、インターホンに対する社会的価値の向上。
- ・ 新たな感染拡大による営業活動への制限等の可能性。

(生産・物流)

- ・ コンテナ不足、港湾スペース不足等による輸送運賃の高騰及び輸送形態の変更等による物流コストの増加。
- ・ 新たな感染拡大による生産工場の操業停止等の可能性。

■ 電子部品の需給逼迫の影響

(営業)

- ・ 部品供給不足による生産への影響により、国内外ともに一部商品の供給に遅延が発生。
- ・ 2020年10月発生の子プライヤ工場火災の影響による当社への需要の増加は、第4四半期には落ち着きをみせ、徐々に通常の状態に戻ると予測。

(生産・物流)

- ・ 世界規模による電子部品の需給逼迫に伴うコストアップ及び生産量の減少。
- ・ 2021年3月発生の子プライヤ工場火災の影響は、徐々に供給体制の復旧が進みつつあるものの、正常化には時間を要しており、継続的な部品供給遅延が発生。

(億円)	21/3月期		22/3月期		当初計画 (21/5/7公表)
	実績	計画 (21/9/21修正)	前期比		
売上高	461.4	525.0	113.8%		525.0
営業利益 (売上高営業利益率)	36.2 (7.9%)	50.0 (9.5%)	138.0%		45.0 (8.6%)
経常利益	36.9	53.0	143.5%		46.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	30.0	41.0	136.3%		36.0
為替 レート (円)	USD	106.06	109.84		
	EUR	123.70	129.26		
	THB	3.42	3.37		

※上記実績及び計画は新収益認識基準を適用

- 2020年10月発生サプライヤ工場火災による当社への需要の増加は、第4四半期には落ち着きをみせ、徐々に通常の状態に戻ると予測。
- 世界規模による電子部品の需給逼迫に伴うコストアップや生産量の減少、及び2021年3月発生サプライヤ工場火災による継続的な部品供給遅延の長期化などが、業績に影響を与える可能性あり。

ワイヤレス、高機能商品を中心とした販売促進



▲ワイヤレステレビドアホン：WR-11

外部環境

- 新設住宅着工戸数は回復傾向
- コロナ禍による非対面やセキュリティへのニーズの継続的な高まり
- 2021年3月発生のサプライヤ工場火災による部品の供給遅延の長期化

取り組み

- 評価の高いワイヤレステレビドアホンシリーズの販売促進
- 大手ハウスメーカーを中心に高機能テレビドアホンシリーズの販売促進

ソリューション提案、切替採用先への継続採用の提案強化



▲集合住宅用インターホンシステム：dearis

外部環境

- 分譲・賃貸ともにリニューアル需要は増加傾向
- 2020年10月発生の子供服工場火災の影響による需要の増加は、第4四半期には落ち着きをみせ、徐々に通常の状態に戻ると予測
- 2021年3月発生の子供服工場の火災による部品の供給遅延や、電子部品の需給逼迫等が継続

取り組み

- 分譲マンションのリニューアルを中心とした消防法関連商品とのソリューション提案を強化
- 修理対応終了予定のシステムに対するリニューアル提案活動の強化
- 全国の賃貸管理会社との関係を強化し、賃貸マンション・アパートシステムの販売促進
- 当社仕様への切替採用先に対する継続採用に向けた活動強化

IPネットワーク対応機器を活用した
トータルソリューション提案を推進



▲ IPネットワーク対応ナースコール：Vi-nurse

外部環境

- 病院市場の新設着工件数の増加は期待薄
- コロナ禍による現場へのリニューアル提案活動の制限が継続
- 2021年3月発生サプライヤ工場の火災による部品の供給遅延や、電子部品の需給逼迫等が継続

取り組み

- IPネットワーク対応ナースコールシステム『Vi-nurse』をプラットフォームとしたスマートフォン連携等の提案を強化
- 見守りシステムや非対面のコミュニケーションツールによるコロナ禍対応の設備提案を強化
- ロボット・ICT補助金等を活用した、IPネットワーク対応機器やアプリケーションソフトによるトータルソリューション提案及び受注活動を強化

高まるセキュリティ・非対面ニーズに対応する
システム提案を強化



▲ IPネットワーク対応インターホン
IXシステム

外部環境

- セキュリティ・非対面ニーズの高まりは継続
- 学校案件のほか、政府系案件・病院案件等における入退室管理の重要性の高まりは継続
- 世界的な電子部品の供給不足により一部商品の納期に遅延が発生

取り組み

（北米・欧州）

- IPネットワーク対応システムの販売拡大に向けた工事店への提案活動の強化
- 政府系案件等へのIPネットワーク対応インターホンシステムの販売促進
- 集合住宅向けIPネットワーク対応システムの販売促進
- 住宅、小規模オフィス向けテレビドアホンの販売促進

■ 持続可能な社会の実現に向けて

当社では事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを進めています。



JO Wi-Fi
Kit vidéo Wi-Fi à mémoire d'images

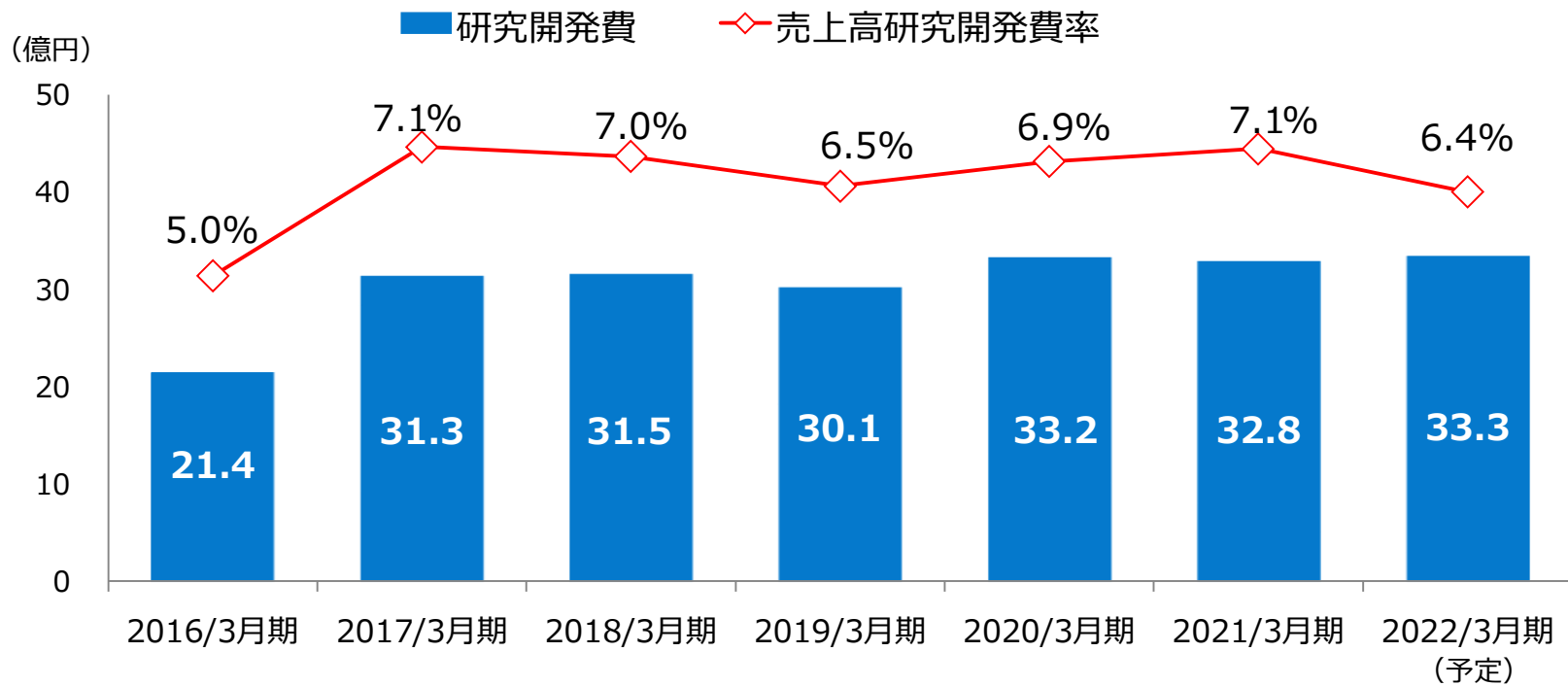
- Moniteur Wi-Fi avec écran tactile 7"
- Jusqu'à 8 smartphones appariés
- Mémoire d'images : Enregistrement interne
- Application compatible iOS et Android
- Garantie 5 ans si enregistré au Triple A

環境保護に貢献する為のプロモーション活動事例
アイホンS.A.S. (フランス)

当社業績への貢献 = 環境保護への貢献へと直結



「対象テレビドアホンセット購入ごとに5本分の植林」の寄付をするプロモーションを展開。環境保護への社会的関心が予てからより高い傾向にある欧州において、お客様からも好評を博し、合計**1,510本分**の寄付を実施。



(直近の発売状況)

- ・ 2020年3月 集合住宅・業務市場向けIPネットワーク対応インターホンシステム「IXG」発売
- ・ 2020年8月 戸建住宅向けワイヤレステレビドアホン「WR-11」発売
- ・ 2020年9月 賃貸マンション向けインターホンシステム「PATMO α」発売
- ・ 2020年12月 分譲マンション向けインターホンシステム「dearisシリーズ」発売
- ・ 2021年6月 戸建住宅向けミドルグレードテレビドアホンシリーズ発売
- ・ 2021年10月 海外市場向けIPネットワーク対応インターホンシステム「IXシリーズ：非接触対応玄関子機」発売



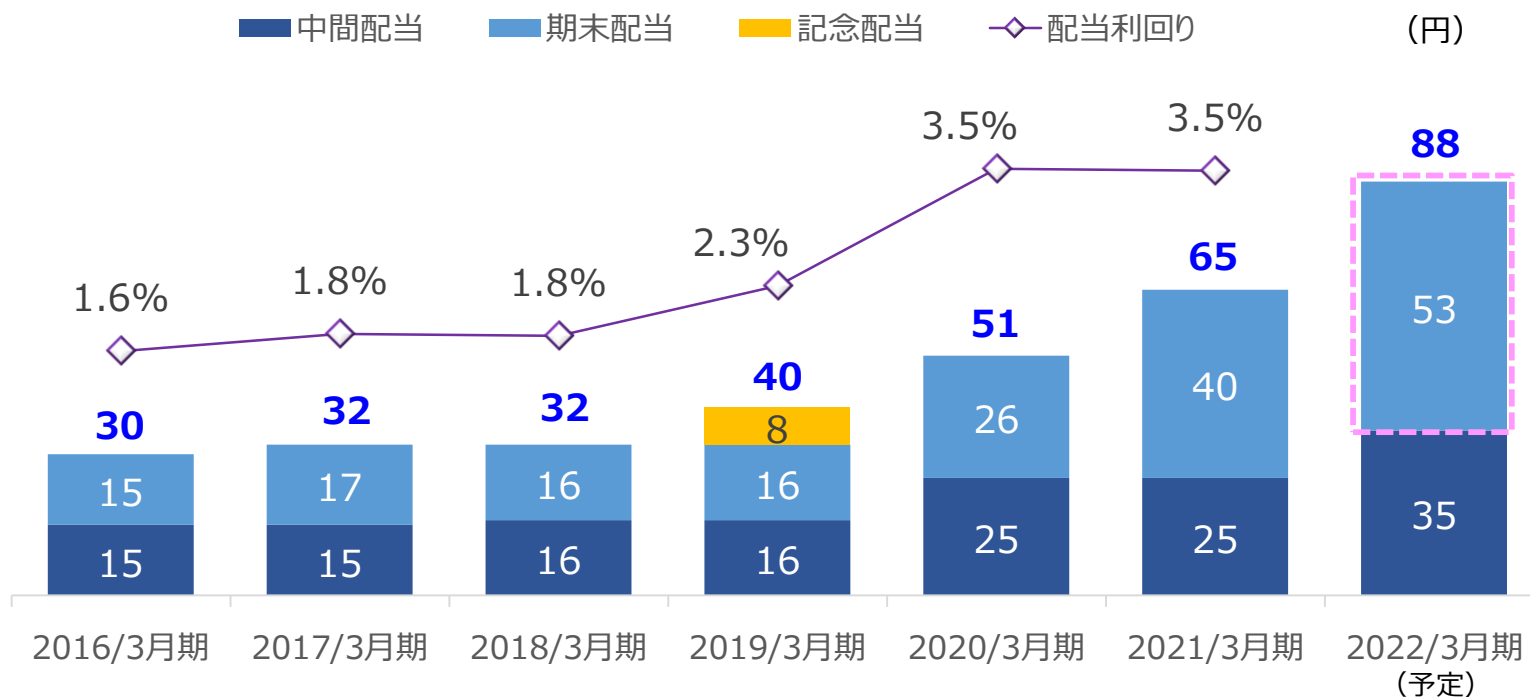
▲IXシリーズ
非接触対応玄関子機

3. 株主還元

■ 基本方針の概要

長期的な視点に立った安定的な配当の継続に努めるとともに、原則として1株当たりの年間基本配当金額50円を念頭に、連結配当性向35%を目途とした配当を行う

■ 配当の推移



4. 新市場選択（プライム市場）

参考資料

【経営理念】 われわれの合言葉

『自分の仕事に責任を持って 他人に迷惑をかけるな』

会社名	アイホン株式会社 AIPHONE CO., LTD.
本社	愛知県名古屋市中区新栄町一丁目1番
代表者	代表取締役社長 加藤 康次
創立	1948年6月1日
資本金	53億8,884万円
従業員数	2,050人（連結） ※2021年9月末日時点
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部 証券コード：6718

インターホン業界トップシェア！



* 2021年度インターホン工業会データより当社調べ (9月末日時点)

第6次中期経営計画

改善 ⇒ 改革 ⇒ 変革

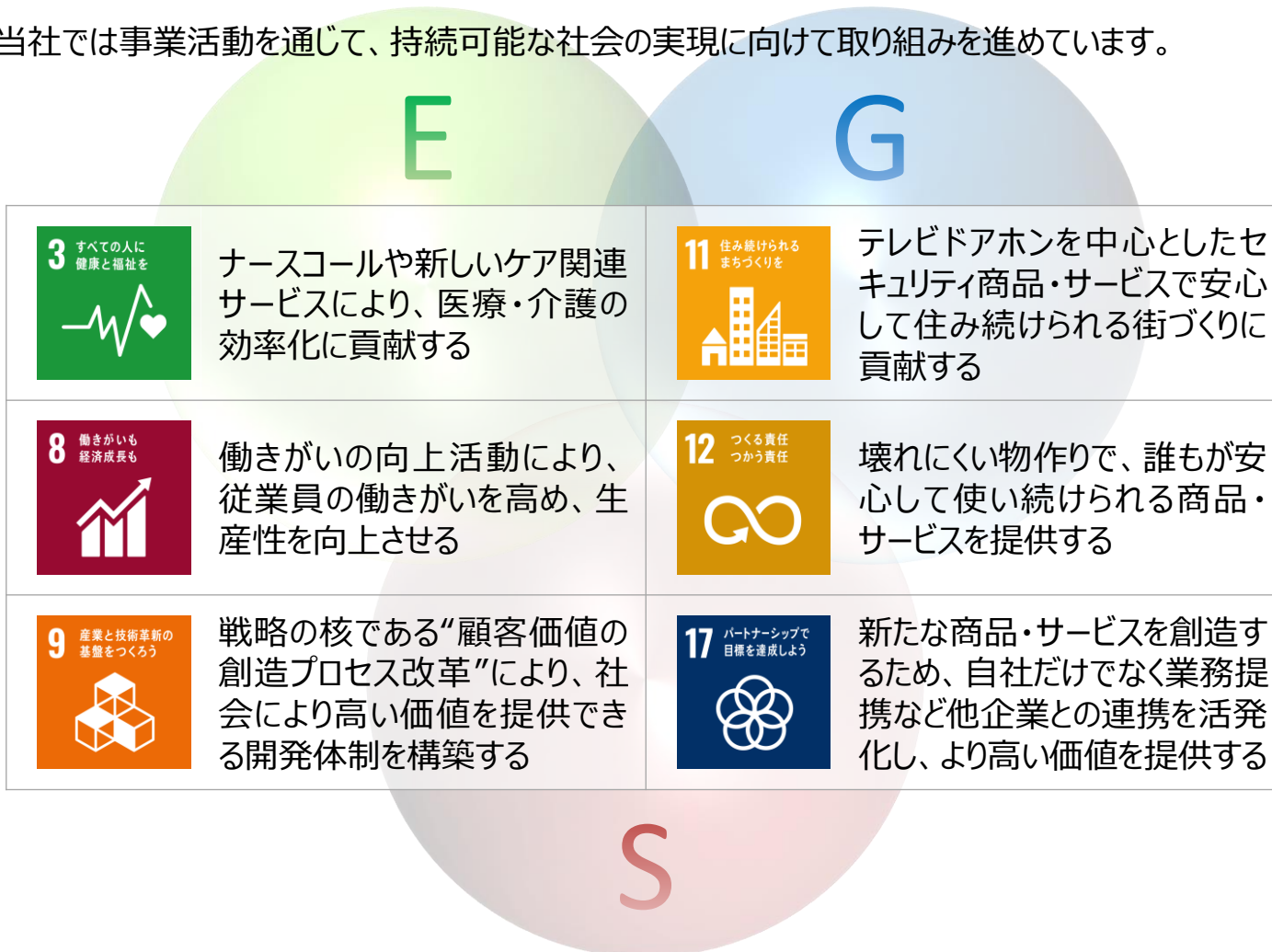
変身

Transformation

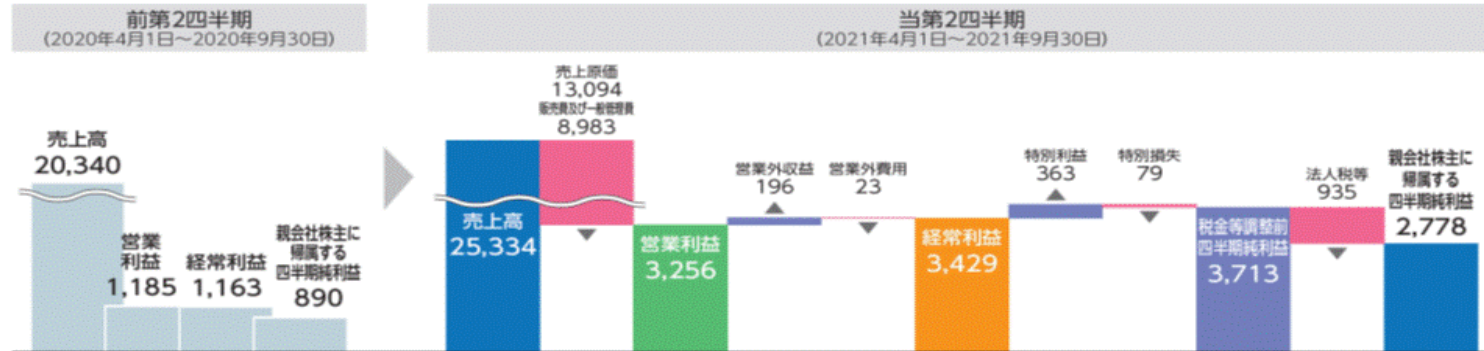
従来のビジネスモデルから発展し、
「安心」「安全」「快適」「生産性と価値の向上」といった
お客様が真に求める価値を創造する企業に
変身するための3年と位置づける。

■ 持続可能な社会の実現に向けて

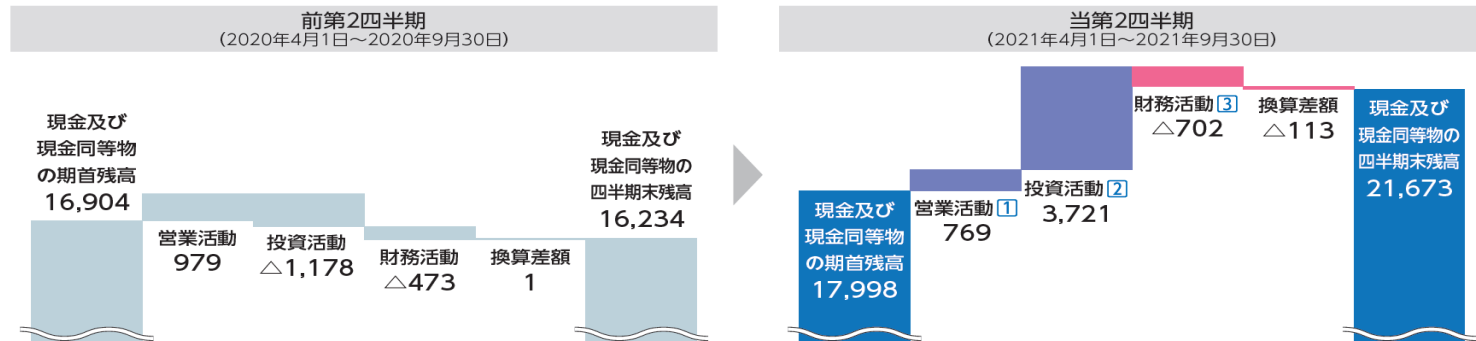
当社では事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを進めています。



連結損益計算書の概要



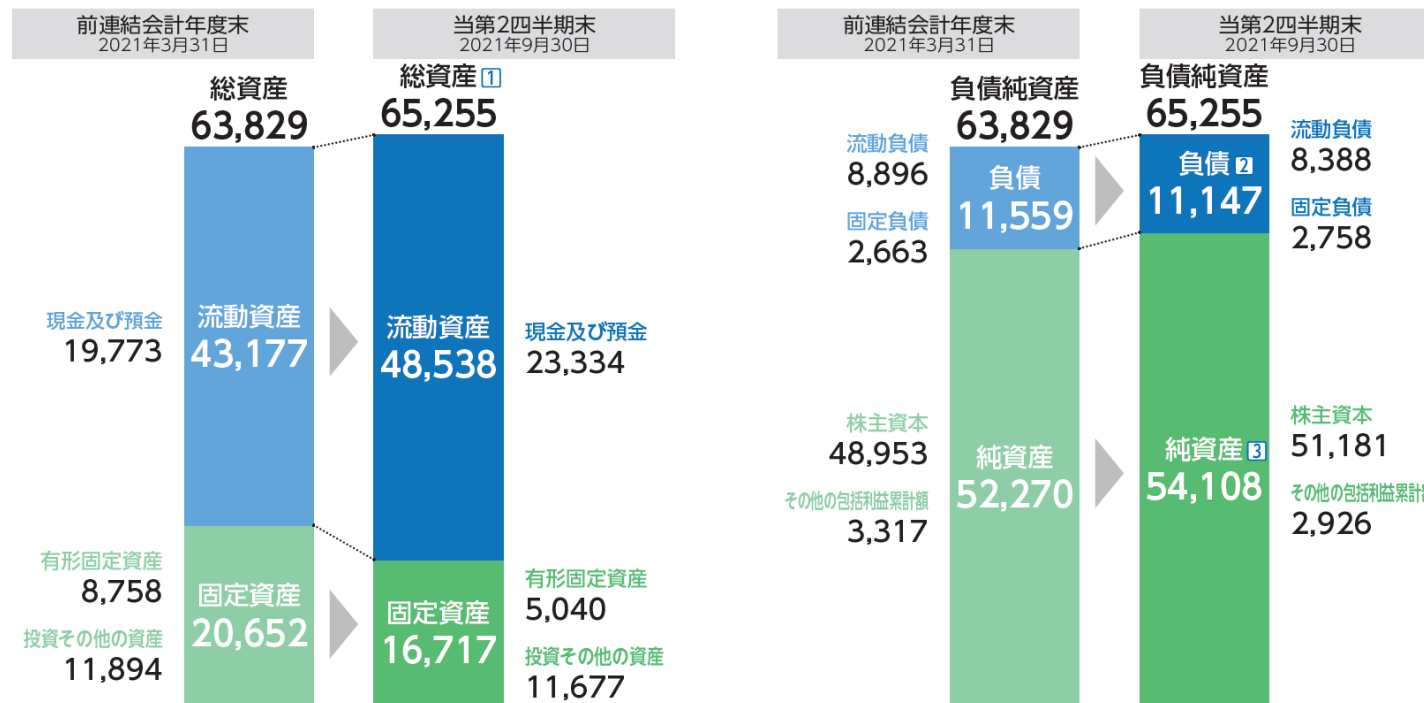
連結キャッシュ・フロー計算書の概要



解説

- ① 主に、税金等調整前四半期純利益37億1千3百万円の計上や棚卸資産の増加額20億円などによるものです。
- ② 主に、有形固定資産の売却による収入35億8千9百万円、投資不動産の売却による収入5億7千7百万円、投資有価証券の取得による支出3億5百万円などによるものです。
- ③ 主に、配当金の支払額6億5千3百万円等があったことによるものです。

連結貸借対照表の概要



解説

- 1) 主に、現金及び預金が35億6千万円増加、棚卸資産が19億2百万円増加、土地が35億円減少したことによるものです。
- 2) 主に、仕入債務が6億7千1百万円減少、未払金が3億2千万円減少、未払法人税等が3億5千6百万円増加、製品保証引当金が3億2千2百万円増加したことによるものです。
- 3) 主に、利益剰余金が22億2千8百万円増加、為替換算調整勘定が4億3百万円減少したことによるものです。

P E R	:	株価収益率	10.0 倍
P B R	:	株価純資産倍率	0.58 倍
R O E	:	自己資本利益率	6.0 %
E P S	:	1株当たり純利益	184.00 円
配 利 回 当 り	:	2021年3月末日株価1,849円	3.5 %
配 性 当 向			35.3 %
B P S	:	1株当たり純資産	3,198.52 円
D O E	:	純資産配当率	2.1 %
自 己 資 本 比		率	81.9 %



本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき弊社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

アイホン株式会社

<https://www.aiphone.co.jp/>